

## 関町図書館 図書館利用者懇談会

- 1 日時 令和3年11月4日(木) 14時～15時30分
- 2 場所 関町図書館 2階 視聴覚室
- 3 参加者 利用者 10名  
図書館 2名  
(関町図書館長、関町図書館館長代理)
- 4 テーマ 「コロナ禍における図書館サービス」
- 5 配付資料 (1) 練馬区立図書館の現状  
(2) 練馬区立図書館ビジョン概要版  
(3) 令和2年度 練馬区立関町図書館の運営方針からみた実績  
(4-1) 令和2年度 練馬区立関町図書館実施事業一覧  
(4-2) 令和3年度 練馬区立関町図書館実施事業一覧  
(5) 令和3年度児童定例事業予定
- 5 次第 (1) 関町図書館長挨拶  
(2) 図書館職員紹介  
(3) 令和2年度、令和3年度前半 事業概要説明  
(4) 参加者自己紹介  
(5) 懇談  
(6) 閉会の挨拶

### 関町図書館利用者懇談会 会議録

#### 1 関町図書館長挨拶

皆さま、本日は、お忙しい中、関町図書館の利用者懇談会にご参加いただき、またコロナ禍の中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。関町図書館長です。どうぞよろしくお願いいたします。関町図書館は、昭和57年の9月に開館し、今年で39年目となります。平成28年に改修工事を行い、平成29年の4月にリニューアルオープンして新しい施設として提供させていただいております。練馬区内では新しい設備をいくつか入れておりまして、グループ学習室、座席管理席、図書除菌機、デジタルサイネージなどの設備を導入しております。図書除菌機については、今年度より練馬区の他の館にも導入をしていますが、関町図書館はリニューアルオープン時から導入しています。また、平成29年4月より指定管理者制度を導入しており、わたくし以下職員は、全て民間の企業の者でございます。株式会社図書館流通センターが運営にあたっております。

今回は、「コロナ禍における図書館サービス」というテーマで懇談会を行いたいと思います。皆さんに懇談という形でご意見をいただき、今後の図書館運営の参考にさせていただきたいと思います。コロナ禍で今後、どのようなサービスが求められていくか、ご意見をいただければと思います。

このあとの流れですが、関町図書館の事業実績を簡単に説明させていただきます。その

後、皆さまからのご意見をいただき、今後の図書館運営の参考にさせていただきたいと思  
います。その際、どのような方がどのようなご意見をされたかをあわせて把握したいため、  
初めに自己紹介の時間を設けさせていただきたいと思います。団体・施設に所属されてい  
る方については、この1年の活動の振り返りなどをお話いただければと思います。一般利  
用者の方は、この1年間でどのような思いで過ごされてきたのかなどをお話いただければ  
と思います。

なお、本日は関町図書館の懇談会となっております。館独自で答えられないような内容、  
図書館全体に関わること、図書館システムに関する事などにつきましては、お答えでき  
ない場合がございます。そういった質問や意見については、こちらでご意見を承りまして、  
統括館である光が丘図書館と相談した上で、後日、ホームページにて回答させていただきます。  
ご了承ください。

また、11月20日（土）午後2時から光が丘図書館の懇談会がございます。図書館全体  
のご意見等を問い合わせられる場合は、そちらにご参加いただければと思います。

## 2 図書館職員紹介

関町図書館長、関町図書館館長代理

## 3 事業紹介等

- (1) 令和2年度、令和3年度前半 事業概要説明
- (2) その他 図書館の主な取組み

## 4 参加者自己紹介

## 5 懇談

**図書館** 団体・施設の方に伺います。普段の活動内容、この1年間コロナ禍で状況が  
どのように変化したのかを教えてくださいませんか。

**利用者** 関町ボランティアコーナーです。関町リサイクルセンターの1階に入ってい  
るので、ご存知の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

ボランティアコーナーでは、ボランティアをしたい方と、ボランティアをお願い  
したい施設とをつなぐ業務を行っています。あとは、地域の方の困りごと、  
例えば、練馬区に相談するほどではないが、少し気になるというような相談が  
あった場合に、それにふさわしい施設を紹介等しています。

コロナ禍では、来所しての相談が難しく、電話相談が増えたと記憶しています。  
事業は、オンラインと対面を併用したハイブリッド式の会議等を進めています。  
なにか相談事がありましたら、お気軽にいらしてください。

**図書館** 次の方、お願いします。

**利用者** 関町リサイクルセンターです。関区民センター前にありまして、日頃、古布回  
収で来ていただいています。

大きな柱は、家具の粗大ゴミをリメイク、修理、掃除を行い、区内4つのリサ  
イクルセンターで販売しています。あと、持ち込みいただいた物も販売していま

す。例えば、Aさんが不要になったものをBさんが安く買った場合、そのお金はすべて練馬区に入ります。

関町リサイクルセンターは、3R推進を行っています。3つのRは、リデュース、リユース、リサイクルになります。リデュースは、例えば、いまはレジ袋が有料になっていますが、エコバッグを持参することによりレジ袋の利用を減らすという取組みです。リユースは先ほど申し上げた通りです。リサイクルは、小型家電や牛乳パックをお持ちいただき、それを再生するという取組みです。

もうひとつの柱が、啓発事業で講座などを行っています。クラフト教室、例えば、布ぞうりや機織り、裂き織り、子供工作などを通じてゴミを減らし、ひいては地球の環境を考えようという啓発活動を行っています。

その他、貸室や環境に関する本、子供向けの本などの貸し出しを行っています。

**図書館** コロナ禍での活動はいかがでしたか。

**利用者** 全面閉館したこともありましたが。開館してからは、恐る恐る講座を開始したり、人数を減らして家具などの販売を行っていました。鍋、フライパン、天ぷら油、電池などの回収は行っていました。講座自体は、参加人数を半数程度にして、密にならないようにしていました。

**図書館** 次の方、お願いします。

**利用者** 関町児童館です。関町児童館は、0歳から18歳までのお子さんが自由に来て遊べる場所になっています。

コロナ禍では、コロナがいちばん世間を賑わせていたころに1か月程度閉館しましたが、子供たちの居場所、遊び場の確保を使命としているので、最初の緊急事態宣言以降は、基本的には制限なく開館しています。コロナ禍で全体の利用人数は減少していますが、乳幼児を連れた親子の来館が増えています。近隣にある関子ども家庭支援センターが入館者数を減らしている関係で、午前中から利用が多くあります。小・中学生の利用は減少傾向にありますが、行事等は変わらず行っています。感染症対策には、それぞれ考え方がありますので、ある程度、許容されたご家庭のお子さんが多く来館しています。

関町児童館内に図書室があります。本の貸し出しについては、増加傾向にあります。図書館とは異なり、子供たちの要望に沿った本を取り揃えています。自宅でゆっくり本を読みたいという意識が高まっているように感じます。とくにマンガがよく読まれています。読み終わった本はカゴに入れてもらいます。本にはブッカーがかかっているのち、表面を消毒したのち、棚に戻しています。おもちゃについて、特にカードゲーム、ボードゲームはカードにラミネート加工をすることにより、消毒がしやすいようにしました。

**図書館** 次の方、お願いします。

**利用者** 関町読書会です。30年くらい活動しています。初めは、子供が小さいころにママ友が集まって本を読みましようというところから始まりました。いまは関町図書館の視聴覚室をお借りして月に1回、活動しています。会員は10人ほどです。月に1回、課題図書を決めて、読書活動をしています。本のジャンルは問いませ

ん。みんなに読んでもらいたい本を推薦し合い、みんなで相談したのちに、次月以降の本を決めています。

関町読書会は、団体貸出を利用しています。一般の方は、1回、2週間の貸し出し期間ですが、団体貸出は、3か月借りられます。同一資料の貸出冊数についてはルールがあるので、借りられる冊数が少なかったときには、交代で読むようにしています。

コロナ禍では、図書館の臨時休館があったり、施設利用の制限があったりしました。いざ施設を利用できるようになっても、会員が慎重になったりしたので、会を開催するかどうかをみんなで相談していました。活動を再開したのは、今月からです。ひとつの本に対して、みんなが楽しんで、色々な意見を述べるという会になっています。いつもありがとうございます。

**図書館** いつもありがとうございます。では、次の方、お願いします。

**利用者** 関町特別養護老人ホームです。慈雲堂病院が近くにある施設です。要介護度が3以上で、介護が重く、在宅の生活が困難になったときに、生活を継続するための受け皿として入所される施設です。入所期間を設けず、基本的には最後まで介護をさせていただいています。定員は70名です。3階建ての施設になっており2階では、ショートステイができる場所があり、10名まで受入が可能ですので、合計80床のベッドがあります。運営は練馬区社会福祉事業団という法人が運営しています。区立の時代と合わせると30年近く経っている施設です。

併設事業としては、40名定員のデイサービスを行っています。自宅から通われている年配の方がお風呂に入ったり、リハビリをする施設があります。その他、訪問ヘルパー、ケアマネジャーなど、地域の拠点のひとつとして、高齢者の福祉に携わっています。

コロナ禍においては、100歳近い高齢者が多くいらっしゃるの、かなり慎重な対応をせざるを得ない状況が続いています。わたくしが異動してきたのが、昨年度です。異動してからは、ほとんどコロナ対策で、外部との接触をほとんど遮断していました。ボランティアの受入も止めています。面会についても、Web面会や一部パネル越しでの面会を再開していますが、制限をかけている状態です。

以前は、関町図書館に出張おはなし会を行っていただいていたのですが、コロナ禍以降、何かできることはないか関町図書館と相談していたところ、入所者に対して、廃棄資料を提供いただき、その本を貸し出しするという形をつくることができました。入れ替えは3か月ごとに行っています。これはとてもありがたいお話で、特別養護老人ホームに入る方々は、認知症がある方がほとんどです。団体貸出を利用すると、汚損、紛失、破損することがあるため、難しかったのですが、廃棄資料を提供いただくことで、入所者の方にも気軽に利用していただくことができます。今まで、当職員が本を提供したこともありましたが、その本が何年もの間、入れ替わらずに置かれている状況がつづいていました。しかし、本が入れ替わり、マンガ、時代小説、料理本など、たくさんの種類の本が並んでいると、よく利用され、入所者の方の好みを知ることができ、新しい発見もありました。今後とも是非つづけていただきたいと思います。関町図書館

**図書館  
利用者**

とはとても良い関係を築いていると思います。今後ともよろしくお願いします。

こちらこそ、よろしく申し上げます。では、次の方、申し上げます。

関町地域包括支援センターです。わたくしは訪問支援員という役割で、ひとり暮らし世帯を1件ずつ訪問する事業を行っています。関町地域包括支援センターは、関町北1丁目から3丁目、関町南2丁目から4丁目、立野町と東西広い地域を担当させていただいています。関町南2丁目から3丁目は、関町特別養護老人ホームがありますが、わたくしたちも自転車で現地まで行き、高齢者の見守り、相談などを行っています。関町図書館には認知症推進委員が、事業で参加させていただき、日頃から大変お世話になっています。

コロナ禍では、高齢者が情報を得にくい状況になっていると感じます。例えば、区民センターにいけば色々な情報が得られますが、その一步を踏みだすことができない状況が続いている気がします。こういう言い方は失礼かもしれませんが、65歳以上の方の2年は、若者とは異なり、精神面、肉体面に対しても、とても影響があると思います。コロナが収束したあとで、内向きになっている地域の高齢者が外に出ていくようにするには、どのように環境を作っていくかを考えるこれからのほうが難しいのではないかという話が所内で出ています。この状況は変わりませんので、できる限りの感染症対策を行っています。

また、街かどケアカフェという高齢者サロンがあります。地域集会場に出向いて、体操教室、認知症講座などを実施しています。事業に参加していただけるだけで、気持ちも違いますし、少しでも高齢者の刺激になれば良いと思います。今後ともよろしく申し上げます。

**図書館  
利用者**

次の方、申し上げます。

関町ブックスタートの会です。配布資料にスケジュールが載っていますが、月平均3回開催しています。今年は6月にコロナで開催できない月がありました。現在は、通常通り開催しています。ブックスタートは、赤ちゃんの4か月健診時に引換券がもらえます。その引換券と母子手帳を持参してブックスタートに参加いただいています。会場は、関町図書館の視聴覚室を使用しています。設営については、マットやイスを出してセッティングしています。コロナ禍では、参加人数を制限しています。会場の設営方法については、関町図書館のスタッフからアドバイスをいただき、とても参考になりました。また、アクリル板の設置、マイクの使用、感染症対策に配慮した形で運営しています。開催時間は30分程度です。開場後、入口で受付をします。そこで引換券をもらい、ブックスタートパックを渡します。ブックスタートパックは、布の袋の中に絵本が2冊と、近隣地域を紹介するパンフレットが入っています。定刻になったら、まずはブックスタートの意義と、ブックスタートパックに入っているパンフレットの紹介をしています。その後、絵本の説明と絵本の読み聞かせを行い、絵本の楽しさを味わっていただき、赤ちゃんのときから絵本を読んであげる意義などを説明しています。つぎに手遊びを行います。ぬいぐるみを使用しています。歌を歌ったりすることができないため、寂しさはありますが、参加者が満足して帰ってもらえるよう、がんばっています。現在は、参加人数に限りがあるため、参加ができない方については、

関町図書館スタッフが、時間外対応として事務室にてブックスタートパックを渡しています。

**図書館** 今回、一般利用者の方が2名参加されています。普段、どのように図書館を利用しているか、またコロナ禍になって、その利用がどのように変わったのかなどをお伺いできませんでしょうか。

**利用者** いつも関町図書館を気持ちよく利用させていただいています。わたしは、都内の他の自治体の図書館で勤務をしています。普段は、練馬区、杉並区、武蔵野市、勤務している自治体の図書館を利用しています。

コロナ禍では、国が出した非常事態宣言は同じであっても、各自治体によって図書館の対応が異なりました。例えば、練馬区の図書館が休館していても、他の自治体の図書館は開館していたということが、この2年間に多々ありました。

利用登録の要件について、練馬区は練馬区在住在勤、近隣区市の利用者が利用カードを作成できますが、わたしが働いている自治体は、国内の住所であれば、誰でも利用カードを作成することができます。昨年春に、ステイホームや在宅勤務、学校の休校がありました。大学生が多い自治体で、大学図書館が休館したから、利用カードを作ったり、また、単身赴任の方の利用登録が非常に増えました。利用登録をする際は、2メートルずつ距離を置いて並んでもらい、カードを発行していました。

カウンター対応について、予約資料の受け取りや返却のみになっていた時期もありました。練馬区と異なるのが、予約資料を郵送するサービスを行っていました。金銭面だけでなく、手間暇もかかり、負担がとても重かったと思います。

閲覧席は、席数を減らし、館内の滞在時間を短くするよう呼びかけています。おはなし会や事業については、一時できないこともありました。定員を減らしたり、事業の中身を変えたり、徐々に通常に戻りつつあるかと思っています。

返却本について、練馬区もそうかもしれませんが、返却された本については、消毒を行っています。冊数が膨大なため、本を拭く作業がかなり負担になっていると思います。

利用者対応について、コロナ禍では、利用者同士が近くに寄った、マスクをしていない、くしゃみをしたなど、利用者がイライラしており、対応に苦慮していました。

個人的に感じることは、高齢者を中心にインターネットで情報を得られない方達が、コロナ禍になり、心の平穏のために図書館が必要であるにも関わらず、図書館が休館していたり、書架に入れなかったりして、図書館のサービスが受けられない時期が長くあったことで、とても心苦しく思っていました。

利用者として思うことは、関町図書館はとても良い図書館だと思います。事業の一覧を見るとわたしが働いている自治体の図書館と比べると、ここまで多くの事業はしていません。松本春野さんの事業などにも参加させていただきましたが、とても細やかな準備をして事業を開催しているということが、良く分かります。同じ図書館員として、スタッフの皆さんが、がんばっているなと思っています。

**図書館** 次の方、お願いします。

**利用者** 関町図書館は緑もあり、開放的でテラスもあり、テラスで本が読めたりできるのはあまり見ない形態かと思いました。外で本を読んでもいいんだよという雰囲気がとても良いと思いました。

わたしは、一利用者としての感想になりますが、コロナ禍のときこそ図書館が大事だと思いました。予約資料の受け取りだけできた時期もありましたが、自分で本を選んで読めるということが、図書館の役割ではないかと思いました。カウンターで貸し出しをしてもらい、その本を持って帰るときのワクワク感も予約資料の受け取りだけでは得られないことだと思います。コロナ対策という意味では、図書館はとても安全だと思います。距離を取り、滞在時間を短くする、話をしないなどの工夫があれば、満員電車に乗るよりよっぽど良いと思います。コロナだから休館するのではなく、なにかやれることを考えていただき、開館していただきたいと思います。

関町図書館の事業にも2つ、3つ参加させていただいていますが、とても良い内容です。いまは参加人数を制限しているとのことですが、より多くの方が、こういった機会に触れることができるのと良いと思いました。できれば、もう少し事業の数を増やしたり、継続事業もあると良いと思います。これからもよろしくお願い申し上げます。

**図書館** 皆さんが日々、苦勞をされているということが、とても良く分かりました。今回の懇談会のテーマである「コロナ禍における図書館サービス」につながってくると思います。現状、社会的には、コロナが終息に向かっているとの認識になっていると思いますが、今後は分かりません。今回、このような機会を設けていますので、コロナ禍がつづくという前提で、今後、図書館がどのようなサービスを行っていけば良いか、皆さまからアイディア、ご意見などを伺いたいと思います。

**利用者** 個人貸出について、予約した本が届いたお知らせをメールでいただいておりますが、本のタイトルが分かりません。タイトルが分かるようになるとありがたいです。

**図書館** おっしゃる通り、現状は本のタイトルが入っていません。ご意見については、練馬区立図書館全体のご意見として承ります。背景として、利用者がどのような本を読んでいるかについては、プライベートな情報です。図書館としては、そういった情報を他者に漏らさないということを考えています。ですので、現状、本のタイトルは載せないというのが、練馬区の考えとなっています。

**利用者** 逆に言うと、例えば、本の趣向が偏っていた場合に、他者に漏れてしまうことはあるのでしょうか。

**図書館** 漏らさないというのが、大原則になります。現状、例外に発生するケースは、小さいお子さんがいる家族の場合、お子さんも利用カードを作成できますが、乳幼児にはカードの管理が難しいので、保護者が管理することになります。その場合は、基準を設けて対応しています。しかし、基本的には親子であっても、お子さんがどんな本を読んでいるか教えてほしいということにはお答えしませんし、予約情報も教えません。例えは良くありませんが、延滞の連絡をするときにも、本人以外には本のタイトルは伝えていません。

- 利用者 分かりました。
- 図書館 他にありますか。
- 利用者 先ほど、館長から関町図書館がリニューアルしてから図書館流通センターが指定管理者になったというお話があったかと思います。たしか5年間の契約だったかと思いますが、もし、他社に指定管理が代った場合、今まで蓄積してきたノウハウは、練馬区では、どのように引継ぐのでしょうか。
- 図書館 コロナ禍がつづくという前提で、今後、図書館がどのようなサービスを行っていけば良いか、他業社を含む練馬区全体の引継ぎというと、残念ながら、ケースバイケースになるかと思います。ただ、基本的な考え方は、図書館運営は民間の会社が行っていますが、関町図書館を運営するにあたっては、練馬区立図書館の方針に沿った運営を行っています。関町図書館の脈々と続いているサービス、伝統、考え方に則って運営にあたるのが大原則となっています。その方針に則って行った事業、実績は、練馬区には報告書という形で共有しています。その実績を他社がどう活かすかは、また別の話になりますが、区立図書館としての歴史、実績、経験値は引き継がせていただくことになるかと思います。
- 利用者 例えば、定期的に関町図書館で開催されている「図書館であそぼう ボードゲームの日」などは、他社が運営することになったら、その他社が判断することになりますか。
- 図書館 そのとおりです。関町図書館で備品として持っているボードゲームなどは、引き継がせていただきますし、実績などもお伝えします。その上で、どう判断するかは、他社次第になりますが、たとえ、実施しない決断だったとしても、それはマイナスの方向ではなく、今まであったものを踏まえて、次のステップとして、どうしていくかということだと思います。
- 利用者 わかりました。
- 図書館 追加で質問などはありますか。
- 利用者 もし、来年の春から他社が指定管理者になったら、ハードルが上がるなと思いました。図書館流通センターになるか他社になるか分かりませんが、これだけ実績があるので、他社がこのレベルを維持するのはハードルが高いのではないかと、お話を聞いて思いました。
- 図書館 関町ブックスタートの会の方に伺いたいことがあります。関町ブックスタートの会さんは、日頃より関町図書館を利用していただけていますが、コロナ前、コロナ後で心境の変化や思ったことなどはありますか。
- 利用者 質問を受けて、いちばん最初に思いついたのは、コロナ禍になってから、ブックスタートに参加される方の対応にとっても神経を使うようになったと思います。入場について、人数制限がありますので、現状は、赤ちゃんひとりにつき、保護者ひとりをお願いしています。夫婦ふたりで参加したいという方には、入口で事情をていねいに説明しますが、色々な方がいますので、その対応に苦慮することがあります。こちらもできる限りの対応を検討、相談していますが、説明については言葉を選んでいきます。今までとは違う対応が必要になったことに気を使うことが多くなったと思います。



**図書館**      ありがとうございます。コロナ対策は、施設によって異なると思います。コロナについては、捉え方が人それぞれですので、団体の方も苦勞をされていることが良く分かりました。お話を伺えて良かったです。

次に施設の方に伺います。関町児童館は、お子さんが多く来館される施設かと思います。先ほどコロナ対策のお話を伺いましたが、施設として、図書館のような滞在時間や、閲覧席の制限などの基準は設けていますか。

**利用者**      関町児童館は、基本的には、席を間引くことや制限することは難しいです。子供たちには、「密にならないでね。」とは言いつつも、人との関わりを求めて来ているので、遊んでいる子供たちに離れるというのは、お互いにストレスだと思っています。子供たちには、入口での検温、手指消毒、手洗い、マスクの着用をお願いしています。物品の消毒などは行っていますが、子供たちの遊び方については、ある程度任せています。一時は練馬区の方針で入場制限をすることがあります、としていたこともありましたが、幸か不幸か、入場制限をするほど利用者が来たということはありませんでした。一度でも入場制限をしてしまうと、次に来たときに入れられないかもしれないという思いが出てくると思うので、そこには、とても気を使っていました。関町児童館は、入場者リストを作成し、時間と名前を書いてもらい、万が一、施設内で感染者が出た場合の対応をとっています。ただ、滞在時間の管理まで行うのはとても難しいと感じています。

**図書館**      関町図書館でも児童向け事業を行っていますので、記録や検温、手指消毒、手洗いをお願いしています。当館も子供にたいして、時間が経ったからという声かけをするのは難しいと感じているので、気持ちがとても良く分かります。

重ねてお聞きして申し訳ありません。コロナ禍になって、子供たちの感覚や心境などは変化していますでしょうか。今後のサービスを考えたときに、利用されている方がどういうものを求めているのか、どういう感覚でいるのかは重要な要素です。子供たちの感覚は、私どものような大人になってしまうと見えなくなる部分でもあります。どんな些細なことでも構いませんので、なにか思うことはありますか。

**利用者**      コロナ禍になって、小学生は、学校の指導で手指消毒、手洗い、マスク着用を厳格に行っていますので、かなり定着していると思います。逆に私どもが声かけをする前に率先して、手指消毒、手洗いを行っています。友達同士で意識しあっている光景が見受けられます。学校で人が触れたものにたいして、敏感になっているお子さんがいるという話は聞いています。ですので、私どもも、こまめな消毒を行っています。

**図書館**      もう一巡、お話を伺いたいところですが、残念ながら、時間が差し迫っています。利用者の方がもうおひとりいらっしゃるの、お話を伺いたいと思います。先ほどのお話の中で、事業を増やしてほしいというご意見がありました。

ほかに図書館として、行ってほしい対策やサービスのご意見などはありますでしょうか。

**利用者**      よく分からないのですが、今年の夏休みが終わったあとに、正面入口のコーナーで夏休みの自由研究を応募するというのがありましたよね。小学校や中学校と

連携して、いいものを育てていこうということが見えたので、とても良いと思いました。ただ、少しもったいないと感じたのが、自由研究の発表会を大人たちが聞く機会がないので、あると子供も大人も新しい発見があって良いのではないかと思います。

もうひとつが、難しいかと思いますが、図書館に親しんでもらうために、夏休みに親子で図書館に1日泊ってみようという企画があると良いと思いました。

**図書館** ひとつは、当館で行っている「調べる学習コンクール」のことと思います。図書館振興財団が主催しているもので、小、中、高校生を対象に夏休み中に調べてまとめた作品を応募する事業があります。この事業は、毎年行っていますが、応募作品の発表会があると良いというお話だったと思います。

もうひとつが、図書館事業として、図書館に泊まるという事業を行ってほしいというお話と思います。

まず補足しますと、当館は、「調べる学習コンクール」のほかに、夏休みにいくつか事業を行っています。夏休みになると課題図書や自由研究の本を図書館で借りて調べようという需要が高まります。課題図書については、夏休み前から予約が多数入り、夏休みが終わるまで借りられないということがよくあります。そこで今年は、課題図書や自由研究の調べ物に使う本をあつめて、特設コーナーに置き、その資料は、一定期間貸し出せないようにすることで、館内で読んでもらい、調べてもらえるようにする事業を行いました。

ほかに、夏休みの課題について、日時を設定し、スタッフに相談できる場所を設けました。

小学生が調べたものに、大人が触れる機会がないということはそのとおりだと思います。「調べる学習コンクール」は、初めに応募作品を図書館で審査しますが、その過程で、とても学ぶことが多いです。発表会があると地域の皆さんも得るものがあるのではないかと思います。一度、検討させてください。

図書館でのお泊り会については、なかなかハードルが高いと思います。書店や海外の図書館での事例は聞いたことがあります。施設を管理する立場からすると、ハードルが高いというのは、セキュリティ一面など、当館の判断で完結しない話になりそうです。いただいたアイデアを参考にさせていただきます。

お時間が少し過ぎてしまったので、今回の会は、以上とさせていただきます。

## 6 関町図書館長挨拶

本日は、貴重なお話、ご意見をいただき、ありがとうございました。

各施設のコロナ禍での1年間のお話がとても参考になりました。皆さんが対象とされている利用者がどういう状況で、施設の方がどう考えているか、今後の図書館運営にとっても良いヒントになったと思います。各施設の方には今後もご協力いただき、色々なことができないかと思っています。

今回、関町図書館にゆかりのある団体、施設、そして利用者の方にお集まりいただきましたが、皆さんのご協力があれば、今後、関町図書館を良い方向へ発展させていけると強く感じました。本日は、ありがとうございました。